



2019年度6月期 事業説明

Precision System Science Co.,Ltd.

2019.8.29



PSSの技術コンセプト

“Simple is the Best” Philosophy

が成功しつつあります

機 器

オープンシステム構成

試 薬

プレフィルドカートリッジ試薬

Magtration
(磁性体ビーズ)

高機能Magnetic Beads

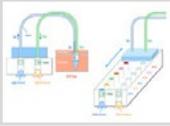
+

PSSの要素技術

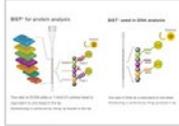


PSSの要素技術

● **LL scanner**
Multi-plex Fluorescence Detecting Unit for PSSs Enabling Sample to Result



● **BIST Tip**
Multiplex detection automation tool



● **Sequencer preprocessing**
Applications of geneLEAD systems



● **RF scanner**
Multiple Sample high speed detecting Unit



● **Brittal nozzle**
Integrated dispensing nozzle



● **LuBEA**
Fully Automated Reaction Measuring Equipment Dedicated to BIST



● **Pin top cylinder**
High-precision wide-range dispensing cylinder



● **Master Tip**
Dispensing tips for high-throughput Magtration



● **SpeLIA & dedicated prefilled cartridges**
Compact analytical system that enables in-facility measurements to be made in a compact, fully automatic, and simple manner



● **PreLEAD 6bL**
Automated apparatus for extraction of highly concentrated nucleic acids from large volumes



● **Bellows Tip**
Cylinder-free large-capacity Magtration dispensing tips



● **PCR lyophilization reagent only cassette**
Pre-pack cassette for freeze-dried reagents only



● **MagDEA Dx SV RNA**
Total RNA extraction reagent for usability



● **Pressure sensor monitoring**
Pressure sensing technology





PSSの事業の中核となる
2機種の開発、上市を達成



geneLEAD XII plus



geneLEAD VIII

コア技術 | 磁性体ビーズ / DNA抽出システム / PCR測定 / 全試薬プレフィルドカートリッジ(消耗品) / 生産ライン構築

PSSの技術思想を「みえる化」できた事で、**さまざまな引合いが生じている**

それにより、

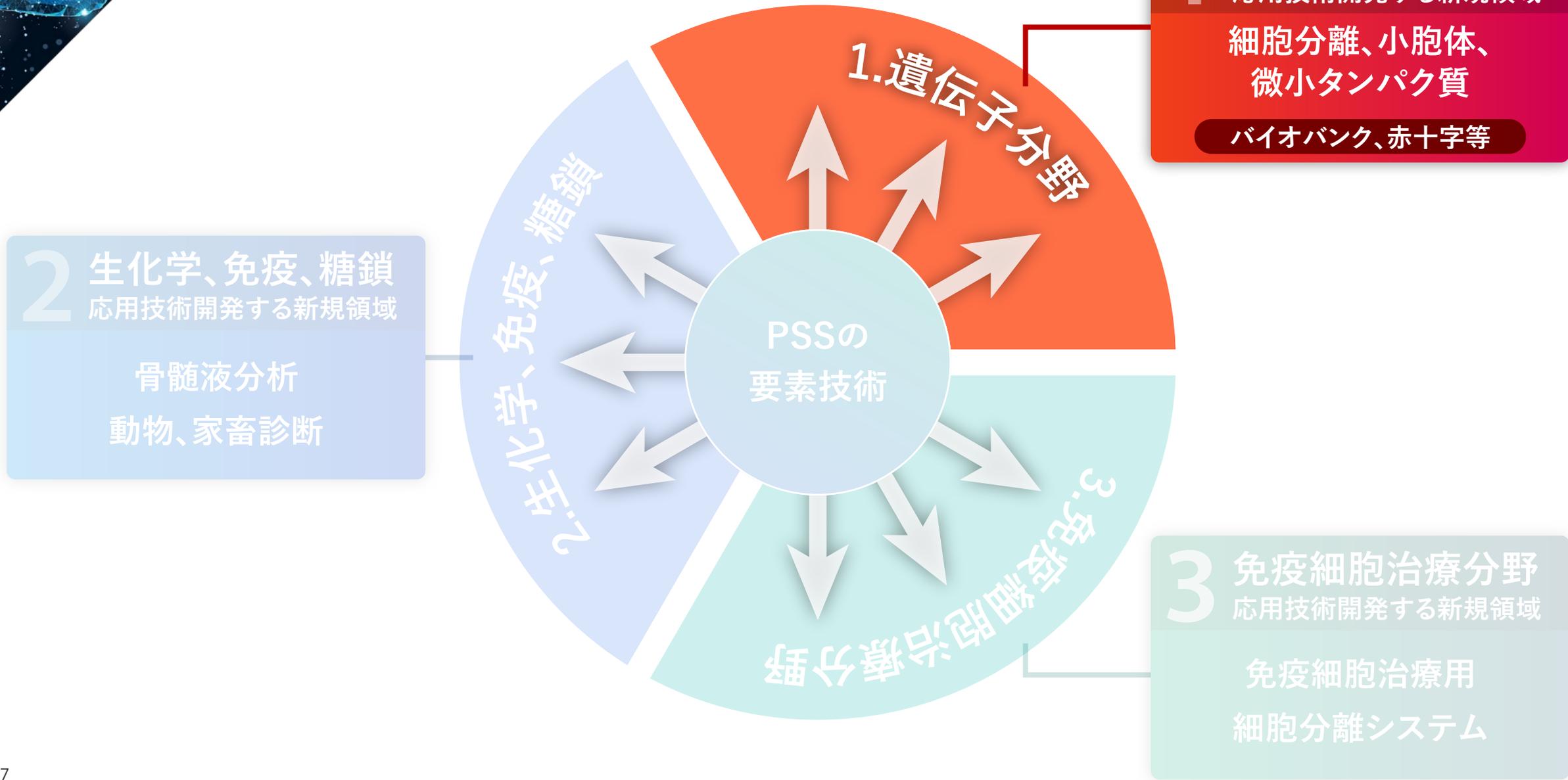
新たな分野への応用拡大、市場開拓といった面白い状況ができつつある

要素技術開発から応用技術開発へ

PSSの応用技術開発



PSSの応用技術開発



PSSの応用技術開発

New MagLEAD MV AR

細胞分離、小胞体、微小タンパク質

開発中製品

1 遺伝子分野

応用技術開発する新規領域

細胞分離、小胞体、
微小タンパク質

バイオバンク、赤十字等

New geneLEAD MV AR

細胞分離、小胞体、微小タンパク質

バイオバンク、赤十字

開発中製品

geneLEAD 96RBA

細胞分離、小胞体、微小タンパク質

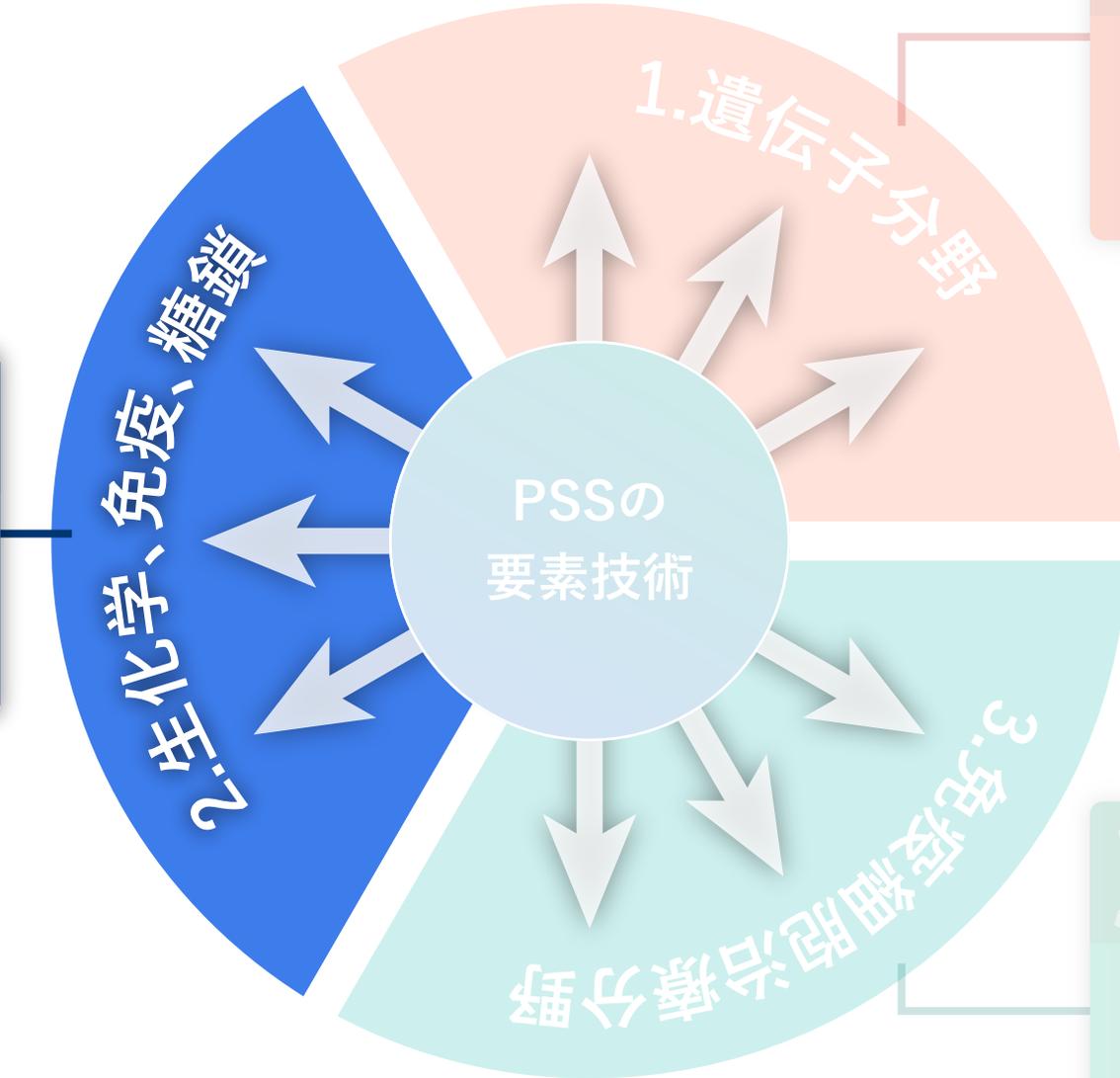
96サンプル連続処理が可能な全自動検査装置

開発中製品

PSSの応用技術開発

2 生化学、免疫、糖鎖
応用技術開発する新規領域

骨髄液分析
動物、家畜診断



1 遺伝子分野
応用技術開発する新規領域

細胞分離、小胞体、
微小タンパク質

バイオバンク、赤十字等

3 免疫細胞治療分野
応用技術開発する新規領域

免疫細胞治療用
細胞分離システム

2 生化学、免疫、糖鎖 応用技術開発する新規領域

骨髓液分析
動物、家畜診断

LuBEAⅧ

骨髓液分析

糖鎖プロファイリング解析



開発中製品

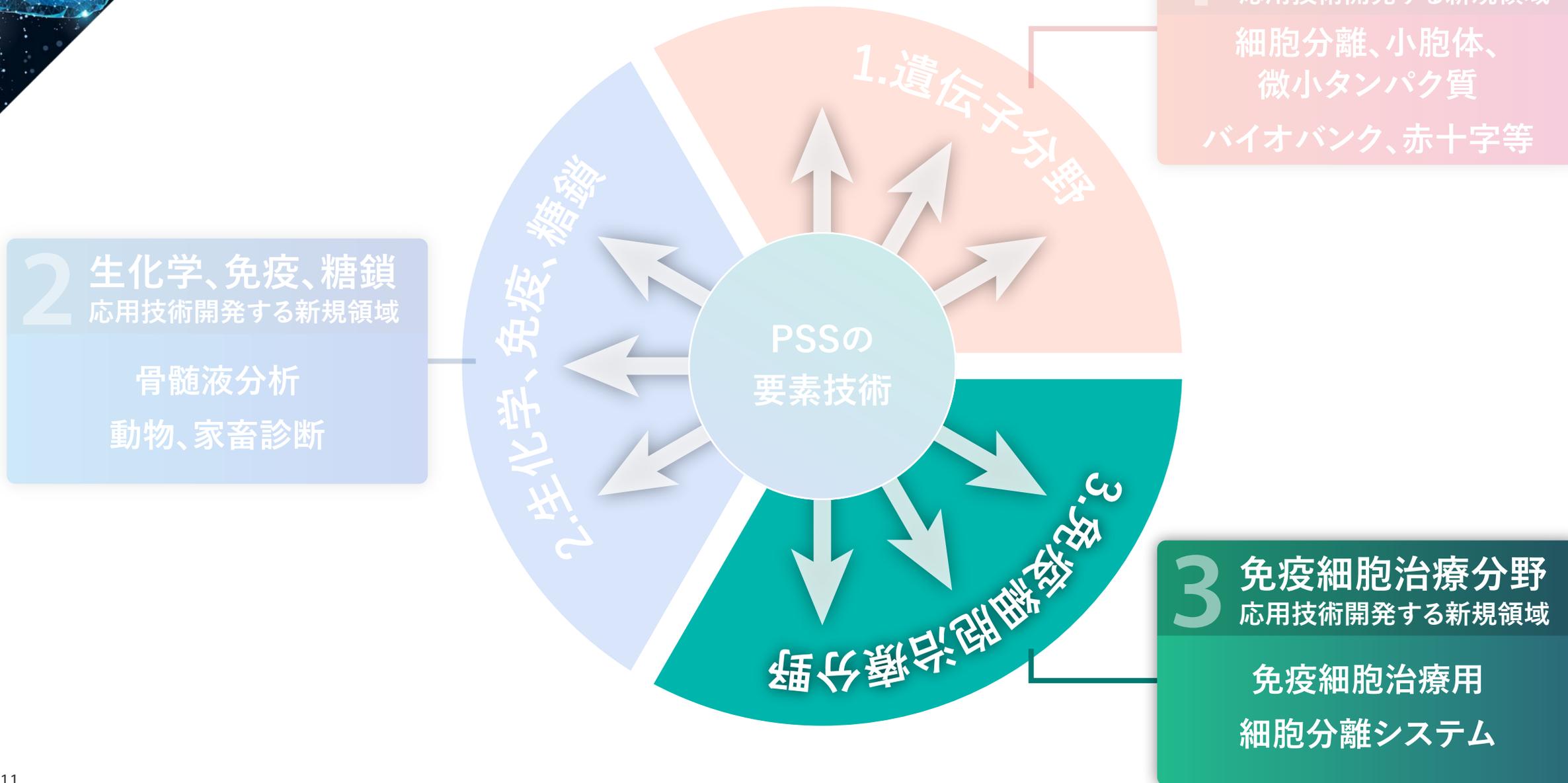
SpeLIAⅡ

動物、家畜診断



開発中製品

PSSの応用技術開発



3 免疫細胞治療分野 応用技術開発する新規領域

免疫細胞治療用 細胞分離システム

Afelex-one

Concept

The automatic autologous blood cell manufacturing system, which is a new technology-based personalized medical device providing innovative care to patients in the medical field.

The technical concept of this system is to apply artificially activate immune cells in vivo in situ, that are not functioning at all in cancer patients, to make continuous attack to cancer cells, resulting in the suppression of cancer progression, recurrence, and metastasis.

開発中製品



試薬の “Simple is the Best” Philosophy

全ての使用試薬を封入したカートリッジにより、複数の試薬ボトル管理からの解放

User Best Friendly Solution

DNA抽出～リアルタイムPCR
geneLEAD次世代カートリッジ

最もSimple

最も高精度

最も安定データ



2019年発、量産システム稼働

低コスト化に成功

magLEAD
geneLEAD



MagDEA Dx SV



MagDEA Dx MV



MagDEA Dx LV



ベローズTip

SpeLIA



SpeLIA カートリッジ

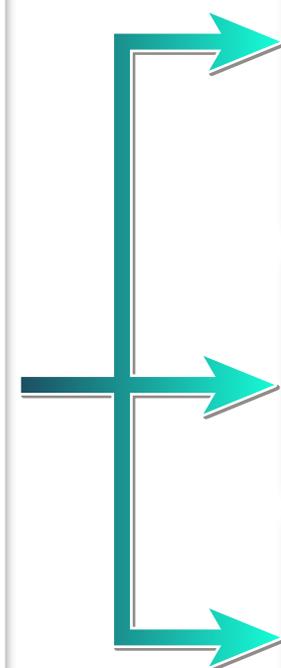
LuBEA



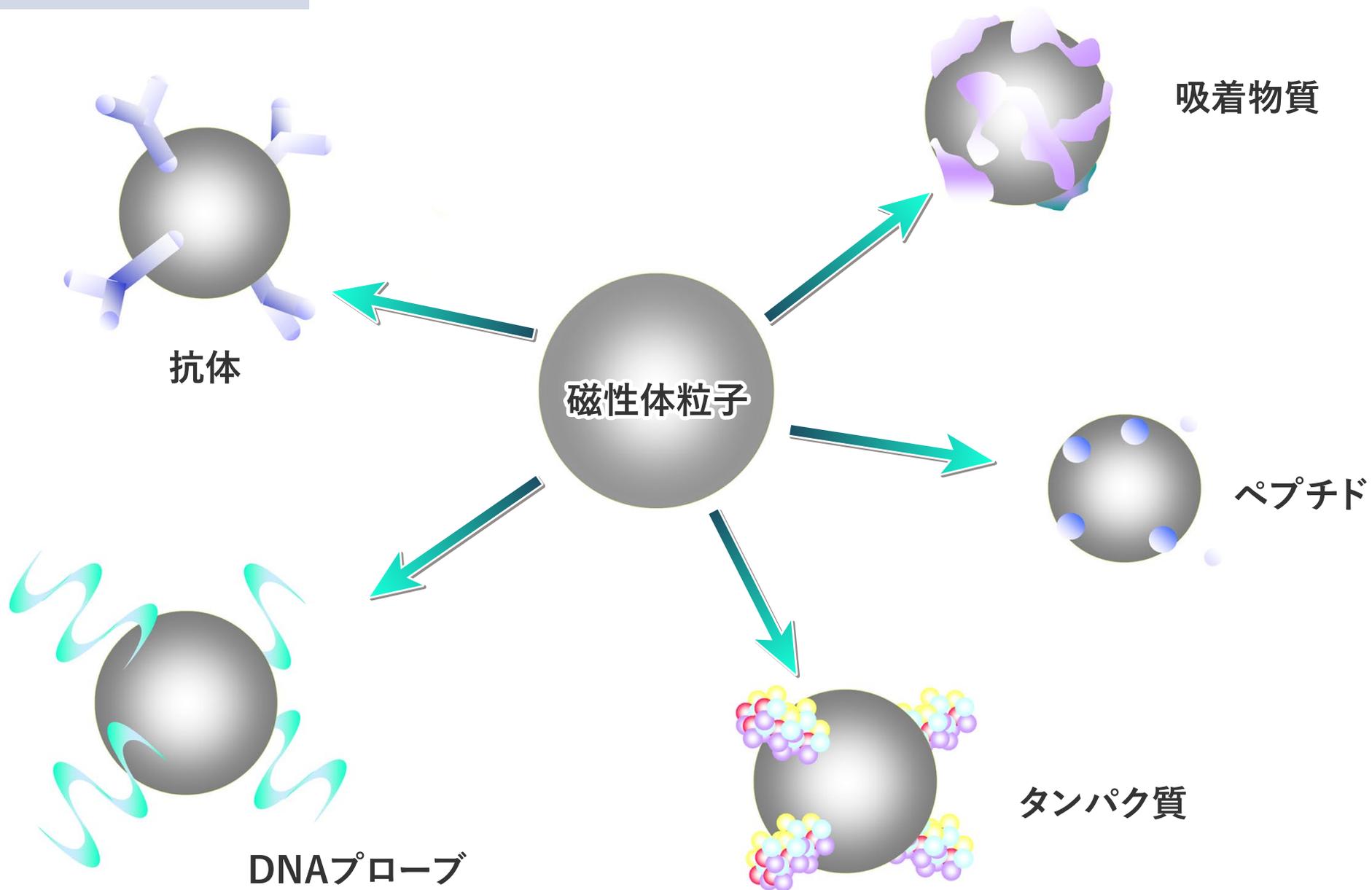
LuBEA カートリッジ



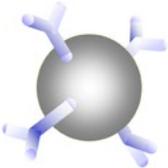
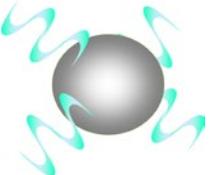
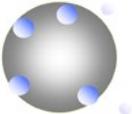
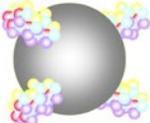
Bist Tip

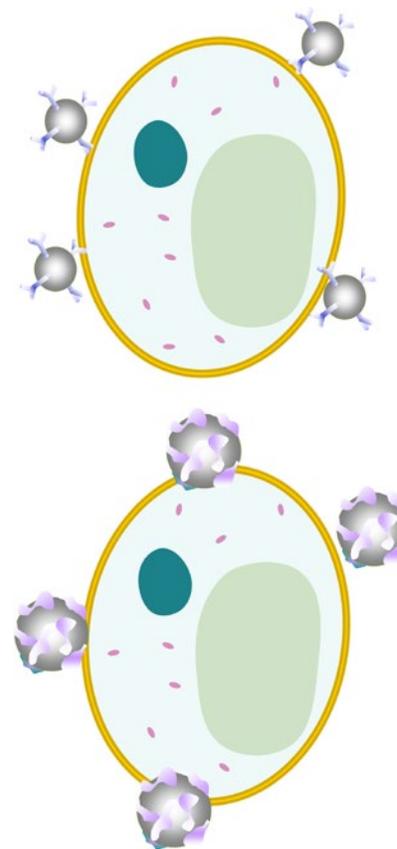


磁性体粒子



磁性体粒子

	表面固定	実現可能な反応 / 解析
	抗体	抗原抗体反応
	プローブ	DNA / RNA 解析
	吸着物質	細菌捕獲 細胞捕獲
	ペプチド	エクソソーム回収
	タンパク質	プロテオーム解析



細胞、細菌表面のレセプターをターゲットにして磁気ビーズを吸着させ、取り囲んで捕獲する

臨床、医療の新しい市場

システムの応用開発

遺伝子、PCR
自動化汎用システム
geneLEADシリーズ



臓器移植感染症、
一般感染症、オンコロジー
mRNA、エクソソーム、
SNP7s ID、ヒューマンID、
鑑識、親子判定、法医学

第三の診断マーカー、
糖鎖解析
LuBEAシリーズ



糖鎖解析
骨髄液診断

ペット動物、免疫診断
SpeLIAシリーズ



イヌCRP
SAA
FDP
Dダイマー

自己免疫細胞を
利用した治療（開発中）

Afelex-one



免疫細胞分離
培養、分化、精製

PSSが到達したシステムソリューション

始まった活用分野



本年度注力事項

遺伝子、PCR
自動化汎用システム
geneLEADシリーズ

第三の診断マーカー、
糖鎖解析
LuBEAシリーズ

ペット動物、免疫診断
SpeLIAシリーズ

自己免疫細胞を
利用した治療（開発中）
Afelex-one

1

この4分野の

応用技術開発を迅速に行い、本格的な事業拡大を目指す



[中期計画]
geneLEADを中心とし、4～5機種試作完成

2

製品生産の拡充

量産能力拡大

品質管理、保証

大館ビデオ

松戸を中心とした図解

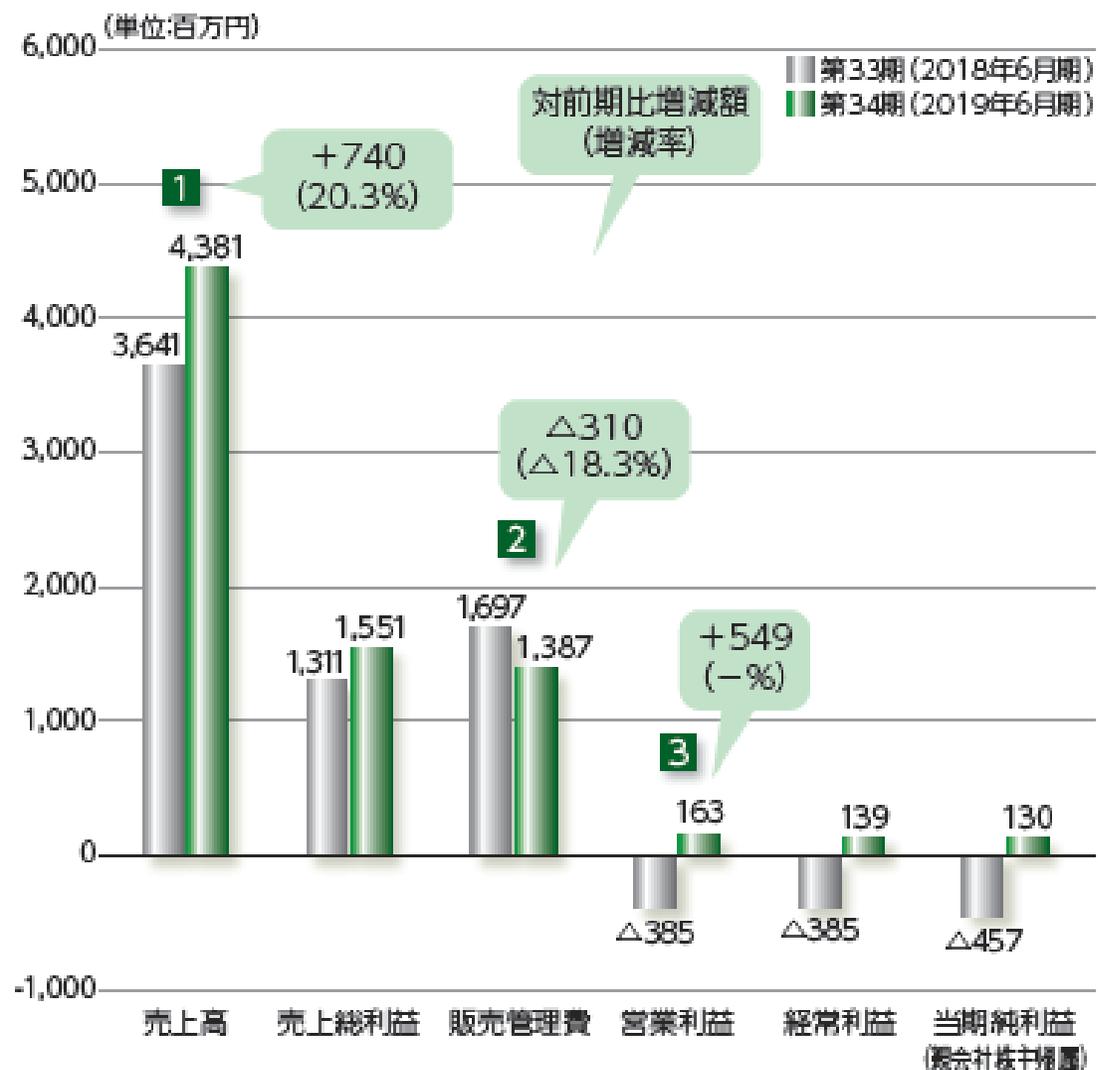
2019年6月期決算説明会

2019年8月29日

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

第34期(2019年6月期)連結業績

■連結業績は、前期比増収増益と、費用削減努力により業績黒字化が達成されました。



◆第33期(2018年6月期)業績比

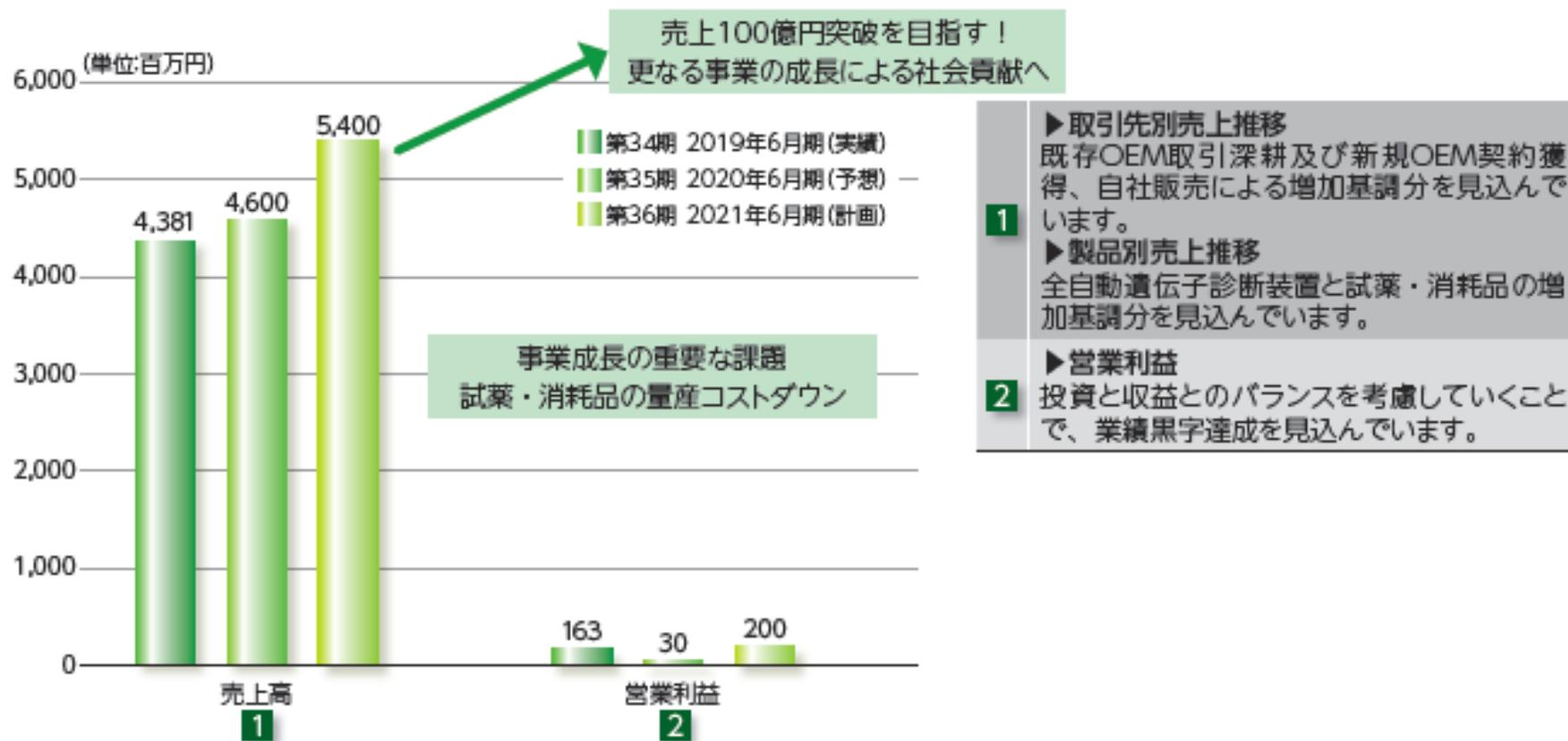
- 1 ▶売上高及び総利益の増収
エリテック社向けOEM供給製品である全自動遺伝子診断装置の販売や、OEM向けDNA自動抽出装置の販売については好調に推移して、全体としては前期比で増収となりました。
- 2 ▶販管費は前期比削減
研究開発費377百万円(前期比33.6%減)と減少したほか、その他費用の削減にも努めたことによるものです。
- 3 ▶業績黒字化の達成
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の黒字化を達成しました。

中期事業計画(2019年6月期~2021年6月期)の進捗について

■当社グループでは、遺伝子診断市場のトレンドを捉え、事業フィールドを研究開発分野から臨床診断分野へ移行するとともに、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの事業転換を掲げています。特に試薬及び消耗品の販売拡大が予想されることから、PSSの大館試薬センターにおける自動化設備投資によるコストダウン対応が要求されており、事業の成長のための今後の重要な課題となっています。

■第35期の見通しは、上記のとおり営業利益縮小となる見通しですが、当社グループにとって開発活動は、パイオベンチャーとして事業を拡大していくために必須であり、また今後さらに売上を拡大していくためには、試薬量産コストダウンの設備投資や自社販売の拡大も重要な柱と位置づけております。これらについては、継続的に投資を実施しますが、収益とのバランスを考慮しつつ、営業黒字達成を目指していく所存です。

なお、第35期業績予想に関する為替見通しは、1ドル=110円、1ユーロ=130円にて算定しています。



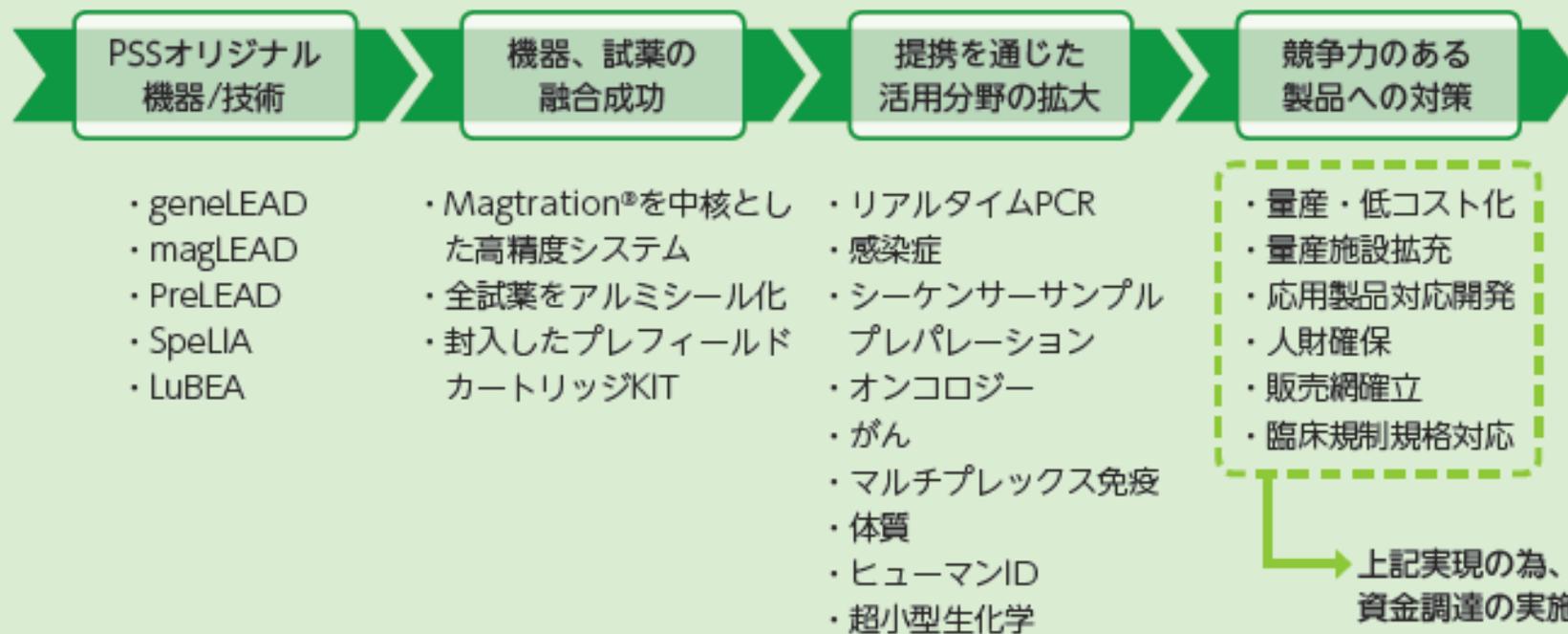
■ 事業成長のための資金調達

「第三者割当による第16回乃至第18回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行（コミット・イシュー・プログラム）及び新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」
（2018年8月27日）

PSSの事業概要と対策（資金調達）



geneLEAD VII



資金調達について

- 第16回新株予約権は2019年1月9日までに全数行使により、総額574,250千円の資金調達を実施しました。

		第16回新株 予約権	第17回新株 予約権	第18回新株 予約権	合計
発行数		2,000,000 個	1,300,000 個	1,300,000 個	4,600,000 個
行使想定期間		2018年9月12日 から約6ヶ月間	2019年9月13日 から約4ヶ月間	2020年9月14日 から約4ヶ月間	-
進捗 状況	行使 完了日	2019年1月9日 までに全数 行使完了	-	-	-
	資金調達 総額	574,250千円	-	-	574,250千円

■ 大館試薬センターにおける自動化設備投資による量産コストダウン対応

試薬製造自動化ライン導入前



クリーンルーム内試薬製造風景
(シーリング工程)



試薬製造自動化ライン導入後



■ 日本国内における体外診断用医薬品の製造販売業許可取得と製造業登録を行いました。(2019年7月30日)

本日は、PSSの事業説明の機会を頂きまして、誠に、ありがとうございます。
今後とも、ご理解、ご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、本資料には、当社の計画と見通しを反映した将来予測に関する記述を含んでおります。これらは、本資料作成時において、入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

2019年8月29日
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
URL：www.pss.co.jp

(お問い合わせは、IR・社長室まで)
電話：047-303-4800
メール：ir@pss.co.jp